



# 町長回誌

No.225

町長日誌の第 225 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

7月17日 (日曜日) AM11:45

皆さんは興部町初代町長がどなたかご存知ですか？

「興部町」が誕生したのは昭和 26 (1951) 年 4 月 1 日、今から 71 年前です。それまでは長い間興部村でした。興部村最後の村長は『多田輝利氏』で町制施行に向けてご努力され、初代町長にも就任されました。当時、興部村の人口は 9000 人を超えており、人口 5000 人以上など 7 項目の要件をクリアできれば町に昇格できると考えた当時の村理事者は村議会に諮り、議会も満場一致で可決し、知事に上申すると共に精力的な要請活動を繰り返した結果、昭和 26 年 3 月 15 日に町に昇格できる認可を受けたのでした。たまたま、この年は改選期であったため初代町長選挙が行われ村長であった多田輝利氏が初代町長に 4 月 1 日就任しました。ところが多田氏に道議会議員出馬の要請があり、出馬の意思を固めたことから僅か 3 日で町長辞任と言う大変な事態となりましたが後任には桑辺長太郎氏が就任され、多田氏も見事道議会議員に当選されました。興部では唯一の道議会議員であります。

実は、7 月 11 日のお昼頃に多田輝利氏のお孫さんが「祖父多田輝利の顕彰記念碑がどこにあるのか知らないか？」と来訪されたのです。この方は輝利氏のご長男のご長男 (78 歳) です。現在、東京にお住まいで故郷を久方ぶりに尋ねて 10 代の頃に見た祖父の顕彰記念碑がどこにあるのか探してみましたが、判る人がいないので役場を訪ねたのでした。現在、多田さんの縁者は町内におらず、役場内でも顕彰記念碑の存在を知る職員はいませんでしたが、私が記念碑の場所を知っていたことからご案内をしました。町民の方でも恐らくご存じないと思いますがこの顕彰記念碑は昭和 35 (1960) 年に多田氏の叙勲を記念して建立されたもので、現在は興部公園の入り口の階段を上ったところに建っています。ちょうど神社の鳥居を真っ直ぐ下に降りたところ。ほとんどの方が神社や公園には車で行かれることから人の目に触れられない場所となっていました。お孫さんは「昔見た時と場所が変わっているように思うし、碑の高さが高くなっているように思う」と言われました。確かに興部公園は開基 90 周年を記念して昭和 53 (1978) 年前後に整備されましたので、その頃に多田氏の顕彰記念碑を町が見渡せる公園に移築したのではと考えます。いずれにしても、この町の名誉町民でもあり初代町長である多田輝利氏のことに触れることの出来た一日でした。お孫さんには心から感謝をいたします。ありがとうございました。



今回の日誌は多田輝利氏のお話を特集させて頂きましたが、お孫さんが「祖父は岐阜県出身ですが興部には多いのですか？」と尋ねられました。興部町は町史で見る限り特定の県の集団開拓や屯田兵が開拓していない町です。多いのは富山県ですが、とてもたくさんの地域の方が入植されて出来たのが興部町であることも興部の特色なのかもしれませんね。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。